



平成18年  
1月5日号

No.33

●毎月5・15・25日発行

# 広報 かもがわ

- 編集発行・鴨川市総務部市長公室 広報広聴係
- 電話・04(7093)7827
- FAX・04(7093)7850
- 住所・〒296-8601 鴨川市横渚1450
- ホームページ  
http://www.city.kamogawa.lg.jp/



**2006年 戌年**  
あけましておめでとうございます！  
わたしたち「いぬ年」のはじまりです！  
この澄みきった青空のように、  
世界一大きな「鬼瓦」のように、  
広く、おお～きく、成長したいな！

世界一大きな鬼瓦(誕生寺)をバックに  
小湊小学校5年生の皆さんと本多市長

とじて保存しましょう



小さくても 光り輝く  
まちづくりをめざし

市議会議員 鈴木 正明

新年あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた平成18年の新春をお迎えのことから喜び申し上げます。

さて、ご案内のように、昨年、新しい「鴨川市」が誕生いたしました。合併2年目を迎えました。

合併後は、地域の均衡ある発展と市民福祉の向上に努め、旧市町から引き継がれた課題の解決や新市事業としての諸施策の推進など、執行機関と共に全力を挙げ取り組んでいます。

地域を取り巻く環境の変化に対応するため、市民と行政との協働による新たなまちづくりへの転換が必要であり、小さくても光り輝

びに、皆様方におかれましては、今年がより良い年でありませう、お祈り申し上げます。新年のごあいさつでございます。

新年あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた平成18年の新春をお迎えのことから喜び申し上げます。

さて、ご案内のように、昨年、新しい「鴨川市」が誕生いたしました。合併2年目を迎えました。

合併後は、地域の均衡ある発展と市民福祉の向上に努め、旧市町から引き継がれた課題の解決や新市事業としての諸施策の推進など、執行機関と共に全力を挙げ取り組んでいます。

地域を取り巻く環境の変化に対応するため、市民と行政との協働による新たなまちづくりへの転換が必要であり、小さくても光り輝

経済効果や人材育成へ  
学園のまちづくりを推進

市長 本多 利夫



## 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、市民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年2月11日、市民皆様方の深いご理解と温かなご協力を賜り、新しい「鴨川市」が誕生いたしました。

市では、現在、まちづくりの基本方針を示す『総合計画』の策定に着手しており、各地区での懇談会等を開催し、幅広い年代層や業種層の方々のご意見・ご提言を計画に反映させ、本市の恵まれた資源を活かし、活力あるまちづくりを創造してまいります。また、厳しい財政状況の中で徹底した行財政改革とメリハリのある予算配分に努め、行政サービスの維持向上に努力してまいります。

特に、新たな時代に向け

た教育環境の整備や保健・福祉サービスの充実に取り組みとともに、重要な施策の一つ、学園のまちづくりでは、その拠点となる「太海多目的公益用地」をはじめ、市内には、既に多くの大学教育研究施設が立地し、新たな消費効果が生まれ、様々な交流事業を通じ、生涯学習の場としても幅広く活用されております。

さらに、本年4月には、城西国際大学「観光学部」が開設され、今後は、経済的波及効果に加えて、大学の優れた知的財産の活用や情報の発信、人材の育成などにより、必ずや本市の発展に大きな役割を果たすものと確信いたしております。

どうか、本年も市民皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。